

小金井市立保育園の施設更新について

1 保育施設部会における主な協議事項

(1) 第1回（令和8年5月13日（水）実施）

ア スケジュール概要の確認

イ わかたけ保育園の施設更新に係る仮園舎候補地について意見交換
（現行敷地内実施・天神前集会施設・前原三丁目公園・下弁天広場）

(2) 第2回（令和8年7月21日（火）実施）

ア わかたけ保育園に係る構造体調査結果の共有

イ 構造体調査結果を踏まえたわかたけ保育園の施設更新（案）の共有

2 わかたけ保育園 施設更新の方向性

ア 構造体調査の結果（別添1）に加え、現施設の構造的な課題（エントランスや廊下が狭くバリアフリー化がされていないこと、相談室や収納スペースが不足していること等）の解消にさらにコストを要することを鑑み、長寿命化ではなく建て替えを前提とする。

イ 仮園舎候補地について比較検討を行った結果、現行敷地内での施設更新を前提として検討を進める。

3 今後のスケジュール等

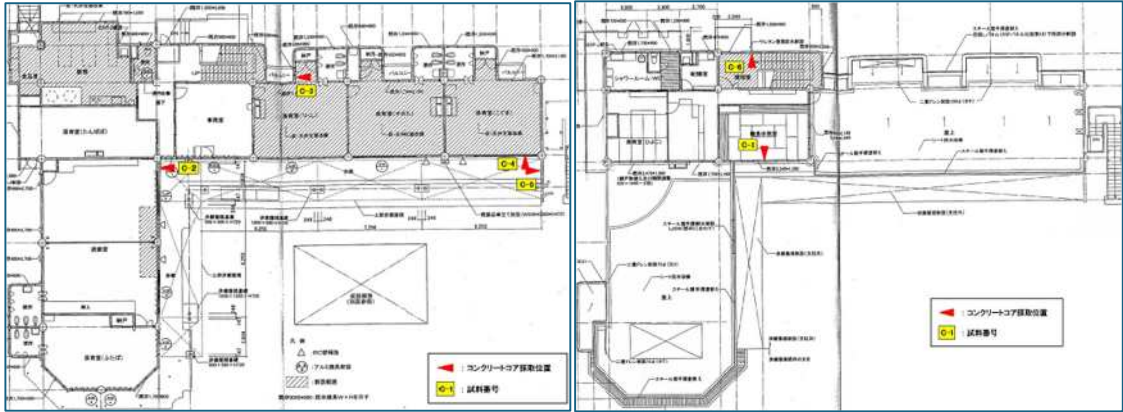
令和8年9月以降、施設更新の方向性に基づき、施設利用者アンケート及びワークショップ等により市民意見を聴取予定。

わかたけ保育園 構造体調査結果のまとめ

1. 構造体調査の目的

わかたけ保育園の更新方法を検討するため、既存建物の構造体健全性及び劣化状況を把握することを目的とし、施設内の6箇所から採取した試料を用いてコンクリートの圧縮強度試験、中性化深さ試験及び鉄筋探査等を実施した。

2. 試料採取位置



3. 調査結果

圧縮強度試験では、採取したコア6本のうち5本が設計基準強度を下回る結果となり、設計時に想定していた建物耐力が不足していると考えられる。また中性化試験では、6本のうち3本について、中性化が鉄筋位置まで進行していることが確認された。これにより鉄筋の腐食が既に始まっていることが想定される。

表 3.2.1 圧縮強度試験結果

採取部位	試料番号	圧縮強度 (N/mm ²)	比較	設計基準強度 (N/mm ²)
2階壁	C-1	13.9	<	18.0N/mm ²
1階壁	C-2	17.6	<	
1階壁	C-3	15.3	<	
1階壁	C-4	14.6	<	
1階壁	C-5	23.5	>	
2階壁	C-6	17.7	<	

表 3.3.2 中性化残り深さ一覧表

採取部位	試料番号	鉄筋種類	鉄筋かぶり厚さ ^{※1} (最小値)	中性化深さ ^{※2} (最大値)	中性化残り	鉄筋腐食が開始する 中性化残り深さ
2階壁	C-1	縦筋	76mm	9mm	67mm	57mm
		横筋	83mm	9mm	74mm	64mm
1階壁	C-2	縦筋	76mm	8mm	68mm	58mm
		横筋	68mm	8mm	60mm	50mm
1階壁	C-3	縦筋	47mm	56.5mm	-9.5mm	-19.5mm
		横筋	52mm	56.5mm	-4.5mm	-14.5mm
1階壁	C-4	縦筋	76mm	6mm	70mm	60mm
		横筋	69mm	6mm	63mm	53mm
1階壁	C-5	縦筋 前面側	43mm	36mm	7mm	-3mm
		横筋 前面側	37mm	36mm	1mm	-9mm
2階壁	C-6	縦筋 前面側	47mm	42mm	5mm	-5mm
		横筋 前面側	52mm	42mm	10mm	0mm

※¹ 鉄筋かぶり厚さ(最小値)は電磁波レーダの比誘電率8.0で測定した値を示す。

※² 採取コアによる中性化深さ測定結果値を示す。

4. 長寿命化の可否について(まとめ)

以上の調査結果より、公共施設個別施設計画(令和3年)に照らして長寿命化の可否について検討を行った。

わかたけ保育園は旧耐震基準で設計されているが、耐震補強工事を実施済みである。また、コンクリートの圧縮強度については、長寿命化の検討基準である13.5N/mm²は上回っており、長寿命化の検討対象である。

わかたけ保育園 構造体調査結果のまとめ

一方で、中性化深さの調査結果においては、中性化が鉄筋位置まで進行している箇所があり、耐久性に重大な課題が認められる。

長寿命化を目指す場合、中性化への対策を施す必要があり、劣化コンクリートの除去等を行うにはスケルトンにする必要がある。この場合、仮園舎の確保が必要となり、敷地内で仮園舎無しで建て替えるよりもコストがかかる。

以上の理由から、わかたけ保育園の施設更新の手法については、長寿命化ではなく、建て替えを前提とすることが適当と考えられる。